

美原区 区域まちづくり事業 効果検証シート(令和6年度)

事業名称					実施主体				
美原区家庭学習推進事業					美原区役所企画総務課				
事業目的			事業効果		活動指標		R4	R5	R6
区内小中学校における自主学習ノート活用の取組を支援し、児童・生徒の家庭における学習習慣の定着を図り、自律的に学ぶ力の育成をめざす。			ノートを全員に配付することで、学校として統一した方針により、児童・生徒への指導を行い、家庭学習習慣を定着させる。また、区内小中学校全校で取り組むことで「つながる教育」の推進に資する。		ノートの配付児童・生徒数		3,005人	2,917人	2,800人
①妥当性			②協働の視点		③インパクト		④効率性		
◎	美原区ビジョン2025の基本方針3に掲げている、主体的に地域課題を解決できる区民を育成するために、自らが感じた課題や興味・関心に挑戦できる環境を整備する事業である。		△	家庭での学習習慣を定着させるためには、児童生徒への指導だけでなく、保護者の理解と協力が欠かせず、家庭の教育力向上を目指す継続的な取組となっている。	○	各学校ではそれぞれ児童生徒の自主学習ノートの取組意欲を高めるため、校内で見本となるノートを掲示し、自立的な学習を促進することができている。	○	区内小中学校全体で取り組むことで、ノートを一括購入することが可能となり、費用を抑えることができた。	
⑤自立発展性			総合評価						
○	学年が上がるにつれて、反復練習から意見や考察の記述に変容し、学習内容が充実していく傾向がある。家庭での学習習慣が定着すれば、学校と家庭が連携した自立的な取組となることが期待できる。		◎	「第3期未来をつくる堺教育プラン」においても「学校・家庭・地域が連携・協働する教育の推進」を定めており、美原区においては各学校が学力向上の取組として、自主学習ノートの活用を位置付けている。また、これまで継続した指導を行ったことにより、学年が上がっても自主学習ノートを使った学習方法を確立している児童・生徒が多く、自主学習の定着や学習意欲の向上につながっている。					
今後の方向性(課題、改善提案等)									
拡充 継続 見直し 廃止	自主学習ノートを使った家庭学習習慣定着に向けて、学校現場ではそれぞれの取組を進めているが、自力では家庭学習に取り組むことができない児童・生徒も一部存在する。各学校が引き続き取組を継続することにより、こどもたちが自主的に家庭学習に取り組むことができるよう、区として支援する。								